

H21-P5 安心・安全な道路交通を確保する道路修繕

京都市の課題

京都市の主要な幹線道路において、アスファルト舗装のわだち掘れや剥離等の損傷が著しい区間が多数存在している。

対 策

アセットマネジメントにより、コスト縮減を図りつつ、幹線道路の「舗装の損傷度が高い区間」の維持修繕を進めていきます。

成 果 目 標

現況(平成21年度当初) → 中間目標(平成23年度末) → 目標(平成25年度末)

- ① 幹線道路における管理水準(MCI=5.0以上)の延長割合の向上
86.0%(現況) → 86.0%(中間目標) → 87.0%(目標)

事業が完成すると？

- ・道路走行時の快適性
及び安全性の向上
等の効果が期待されます。

更にこんな効果が

- ・排水性舗装により補修した場合には、騒音が低下し、沿道環境改善の効果が見込まれる。

現 況

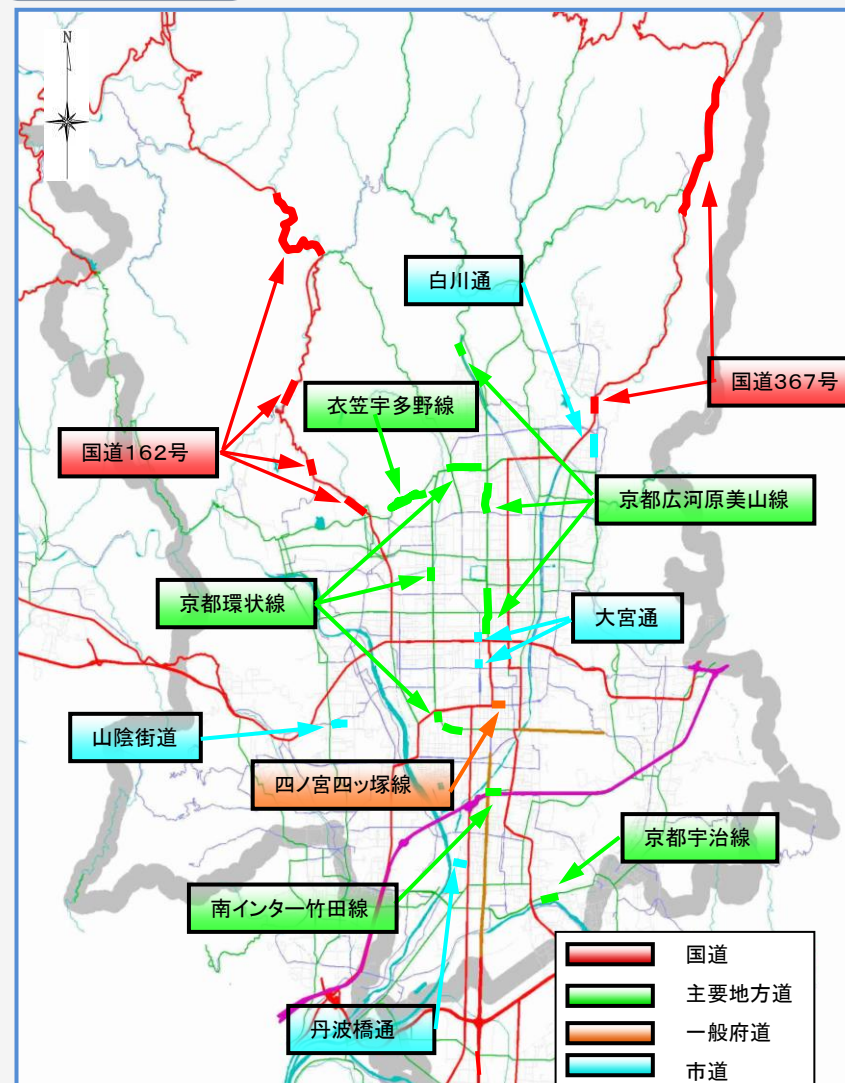
舗装にひびが入っている



舗装がはく離している



主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。